

**PHILIPS**

ヘッドホン

5000 シリーズ

TAT5506



# 取扱説明書

で製品を登録してサポートを受けましょう

[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

# コンテンツ

---

1	安全上のご注意	2
	聴覚への影響	2
	一般注意事項	2

---

2	お使いの完全ワイヤレス イヤープース	3
	付属品	3
	その他のデバイス	3
	お使いの完全ワイヤレス イヤープースについて	4

---

3	はじめに	5
	バッテリーの充電	5
	装着方法	6
	初めてBluetooth対応機器を イヤープースとペアリングする	6
	イヤープースを他のBluetooth対応 機器とペアリングする場合	7

---

4	イヤープースを使用する	8
	イヤープースをBluetooth対応 機器に接続する	8
	ANC (アクティブノイズ軽減) のコントロール	8
	電源オン/オフ	9
	通話と音楽の管理	9
	音声アシスタント	9
	イヤープース/充電ケースLED 表示のステータス	10

---

5	イヤープースをリセットする	11
---	---------------	----

---

6	製品仕様	11
---	------	----

---

7	通知	12
	適合宣言	12
	使用済み製品とバッテリーの 廃棄について	12
	内蔵バッテリーの取り外し	12
	EMF対応について	13
	環境への配慮	13
	対応基準について	13

---

8	商標	15
---	----	----

---

9	よくあるご質問	16
---	---------	----

# 1 安全上のご注意

## 聴覚への影響



### ⚡ 危険

- 耳を守るために、大音量でヘッドフォンを長時間続けて聞くことを避け、音量を上げすぎないようにご注意ください。音量が大きすぎると、安全に聞ける時間が短くなります。

ヘッドフォンを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量で、適切な時間だけ試聴してください。
- 耳が慣れてきますので、音量を上げ続けないように注意してください。
- 周囲の音が聞こえないほど音量を大きくしないでください。
- 危険を伴う場合には、使用を慎重に行うか、一時的に使用を中止してください。
- イヤーピースやヘッドフォンからの過度な音圧は聴覚障害を引き起こす可能性があります。
- 運転中に両耳をふさがれたヘッドフォンを使用することは推奨されておらず、一部の地域では違法となる場合があります。
- 安全のため、交通機関や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

## 一般注意事項

損傷や不具合を避けるために：



- ヘッドフォンを高温に晒さないでください。
- ヘッドフォンを落とさないでください。
- ヘッドフォンに水滴や水がかからないようにしてください。(特定製品のIP定格を参照してください)
- ヘッドフォンを水の中に入れてください。
- コネクタや差し込みが濡れている場合はヘッドフォンを充電しないでください。
- アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗浄剤は使用しないでください。
- 清掃が必要な場合は、柔らかい布で拭いてください。必要に応じて、少量の水または薄めた中性洗剤で湿らせ柔らかい布で、製品を手入れしてください。
- 内蔵バッテリーは、日光、火災等の高温に晒さないようにしてください。
- 電池の交換に誤りがある場合爆発の危険性があります。同じまたは同等のタイプのみで置換してください。
- 特定のIP定格を実現するため、充電スロットを開けておいてください。
- 電池を火や高温のオープンに投げ入れたり、機械で押しつぶしたり切断したりすると、爆発する可能性があります。
- 極端な高温環境に電池を放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- 極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる恐れがあります。

### 使用・保管時の温度・湿度

- 温度が-20 °C(-4 °F) ~ 50 °C(122 °F) の範囲内で使用または保管してください。(最大90%の相対湿度)。
- 温度が0 °C(32 °F) ~ 45 °C(113 °F) の範囲内で使用または保管してください。(最大90%の相対湿度)
- 電池の寿命は高温または低温の環境下で短くなる場合があります。
- 誤ったタイプの電池に交換すると、ヘッドフォンと電池に損傷を与える深刻なリスクをもたらします(例えば一部リチウム電池タイプの場合)。

## 2 お使いの Bluetooth ワイヤレスイヤースピース

ご購入頂きありがとうございます。そしてフィリップスへようこそ!フィリップスが提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を [www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) からご登録いただく必要があります。

Philips完全ワイヤレスイヤースピースは次のようにご利用いただけます:

- ・ ハンズフリーでワイヤレスによる便利な通話
- ・ ワイヤレスで音楽を楽しみながら管理
- ・ 通話と音楽の切り替え



クイックスタートガイド

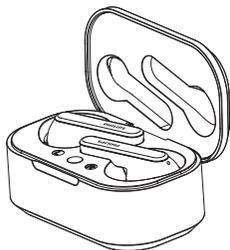


海外保証



安全説明書

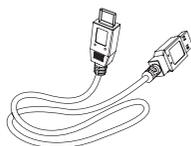
### 付属品



Philips True Wirelessイヤースピース  
Philips TAT5506



取り替え可能なゴム製イヤークャップ x 3組

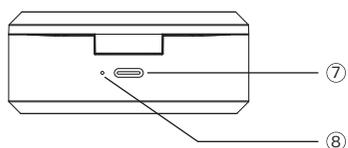
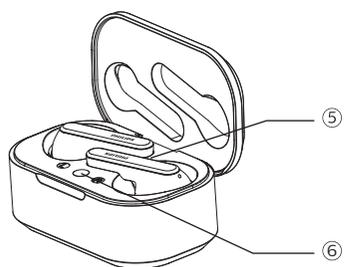
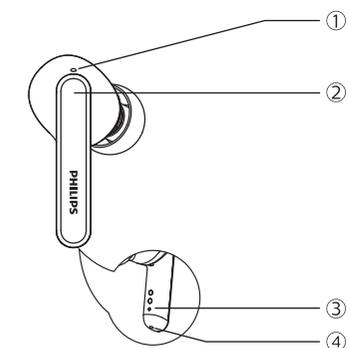


USB-C充電ケーブル(充電のみ)

### その他のデバイス

スマートフォンやBluetooth対応のデバイス(例: ノートパソコン、タブレット、Bluetoothアダプタ、MP3プレイヤーなど)はイヤースピースと互換性があります。

## お使いの Bluetooth ワイヤレスイヤークピースの概要



- ① マイク
- ② 多機能タッチボタン (MFT)
- ③ LED表示(イヤークピース)
- ④ マイク
- ⑤ LED インジケータ (ファクトリーリセット)
- ⑥ ファクトリーリセットボタン
- ⑦ USB充電スロット
- ⑧ LED表示(充電ケース)

# 3 はじめに

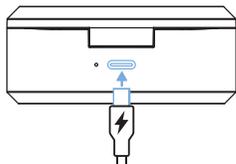
## バッテリーの充電

### 注釈

- 初めてヘッドフォンを使用する前に、イヤークーシングに入れて2時間充電することで、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- 損傷を避けるため、本製品付属のUSB-C充電ケーブルのみ使用してください。
- 充電する前に通話を終了してください。イヤークーシングを充電するために接続すると電源がオフになります。

## 充電ケース

USB-Cケーブルの一端を充電ケースに、もう一端を電源に接続します。



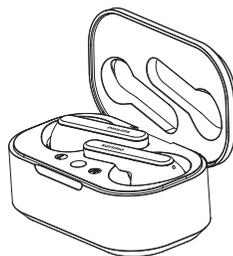
### ヒント

- 充電ケースは、イヤークーシングを充電する携帯用バックアップバッテリーとして使えます。充電ケースが完全に充電されると、イヤフォンを3回フル充電します。

## イヤークーシング

イヤークーシングを充電ケースに収納してください。

- イヤークーシングが充電を開始し、青いLEDライトが点灯します
- イヤークーシングが完全に充電されると、白色のライトが消えます



### ヒント

- 通常、(イヤークーシングまたは充電ケースの)USBケーブルでの満充電は2時間かかります。

## ワイヤレス充電

(ワイヤレス充電器は付属していません)

充電ケースにはワイヤレス充電コイルが内蔵されています。ワイヤレス充電器またはワイヤレス充電器として機能する別のデバイスを使用して充電することができます。

### 注意

ワイヤレス充電の注意事項

- 充電ケースとワイヤレス充電器の間に金属物や磁石などの導電性物質が入っている場合は、充電ケースをワイヤレス充電器の上に置かないでください。
- 充電ケースを高温や水に近づけないでください。充電中にケースが温まることがあります。これは通常のことです。

ワイヤレス充電器でのバッテリー充電

- イヤークーシングを充電ケースに収納してください
- 充電ケースのカバーを閉じます
- 充電ケースの中心をワイヤレス充電器の中心に置きます。
- 充電が完了したら、充電ケースをワイヤレス充電器から外します



### ヒント

- ワイヤレス充電ではフル充電に4時間かかります。

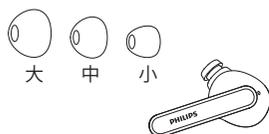
## 装着方法

最適なフィット感のために適切なイヤーチップを選択してください

タイトでしっかりフィット感は、最高の音質とノイズキャンセリングを提供します。

1 どのイヤーチップが最高のサウンドと快適な装着感を提供するかを試してください。

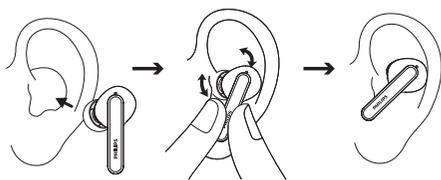
2 大、中、小の3つのサイズが用意されています。



イヤークリップを挿入します

1 イヤークリップの左右の向きを確認してください。

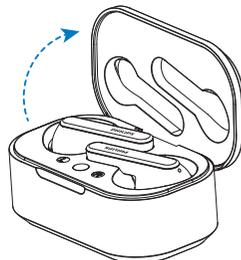
2 イヤークリップを耳に挿入し、しっかりフィットするまで少しひねってください。



## 初めてBluetooth対応機器をイヤークリップとペアリングする

1 ヘッドセットが満充電状態で、電源がオフになっていることを確認します。

2 充電ケースのトップカバーを開きます。



↳ 両方のイヤークリップのLEDが白色と青色で交互に点滅します

↳ イヤークリップはペアリングモードになり、Bluetooth対応機器(例えばスマートフォン)とペアリングする準備ができました

3 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。

4 イヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングします。Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照してください。

### 注釈

- 電源を入れた後、イヤークリップが以前に接続されたBluetooth対応機器を検出できない場合は、自動的にペアリングモードに切り替わります。

次の例でイヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングする方法を示します。

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、Philips TAT5506を選択します。
- 2 指示があれば、イヤークリップのパスワード「0000」（0が4つ）を入力してください。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetooth対応機器の場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips TAT5506

## 片耳イヤークリップ(モノラルモード)

片耳で使用する場合、充電ケースから左右どちらかのイヤークリップを取り出してください。自動的にイヤークリップの電源が入ります。イヤークリップが「Power on」という声が聞こえます。

### 注釈

- 充電ケースから2番目のイヤークリップを取り出すと、イヤークリップ同士が自動的にペアリングされます。

## イヤークリップを他のBluetooth対応機器とペアリングする場合

イヤークリップを別のBluetooth対応機器とペアリングする場合、以前ペアリングしたことがある、または接続したことがある他の機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認します。イヤークリップが白と青で交互に点滅しているときに、充電ケースのボタンを約3秒間長押ししてください。

### 注釈

- イヤークリップがメモリできる対応機器は4個までです。4個以上の対応機器とペアリングする場合、最初にペアリングされた対応機器が新しい対応機器に置き換わります。

# 4 イヤーピースの使い方

## イヤークリップをお使いのBluetooth対応機器に接続する

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 充電ケースのカバーを開けます。
  - ↳ 青色のLEDが点滅
  - ↳ イヤークリップは、最後に接続したBluetooth対応機器を検索し、自動的に再接続します。最後の接続されているデバイスが使用できない場合は、イヤークリップはペアリングモードになります

### ※ ヒント

- イヤークリップは一度に2つ以上の対応機器に接続することはできません。ペアリングされたBluetooth対応機器が2つある場合は、接続したい対応機器のBluetooth機能だけをオンにします。
- イヤークリップをオンにした後お使いのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにする場合は、機器のBluetoothメニューに移動して、イヤークリップを機器に手動で接続する必要があります。

### ≡ 注釈

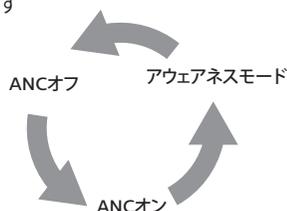
- 3分以内にイヤークリップがBluetooth対応機器に接続できない場合、バッテリーを節約するため自動的に電源がオフになります。
- 一部のBluetooth対応機器では、自動的接続が行われない場合があります。その場合、お使いの対応機器のBluetoothメニューに移動し、手動でイヤークリップを接続する必要があります。

## ANC (アクティブノイズ軽減)のコントロール

### ANCの有効化

右イヤークリップをダブルタップすることでいくつかのANCモードに切り替えることができます。

- 耳に入れるとANC機能がオートアクティブになります
- MFTを2回タッチすると、アウェアネスモードに切り替わります
- MFTを2回タッチすると、ANC機能がオフになります



### ※ ヒント

- イヤークリップを取り外すと、自動的にスリープモードになります。イヤークリップを戻すと、アクティブモードに戻ります。

タスク	MFT	操作
ANCオン	右イヤークリップ	ダブルタップ
アウェアネスモード	右イヤークリップ	ダブルタップ
ANCオフ	右イヤークリップ	ダブルタップ
クイック認識	右イヤークリップ	ビーブ音が鳴った後もタッチを続けてください

## 電源オン/オフ

タスク	MFT	操作
イヤークラス電源オン		イヤークラスを充電ケースから取り出すと電源がオンになる
イヤークラスの電源をオフにします		イヤークラスを充電ケースに戻すと電源がオフになる

## 音声アシスタント

タスク	ボタン	操作
トリガーボイス (Siri/Google) アシスタント	左イヤークラス	タップしたまま2秒間長押しする
音声アシスタントの停止	左イヤークラス	ワンタップ

## 通話と音楽の管理

### 音楽のコントロール

タスク	MFT	操作
音楽の再生/一時停止	右イヤークラス	タップしたまま1秒間長押しする
次の曲	右イヤークラス	3回タップする
音量の調節 +/-		スマートフォンで調節する

### 通話のコントロール

タスク	MFT	操作
応答する/通話中に通話相手を切り替える	右イヤークラス	ダブルタップ
電話を切る/電話を拒否する	右イヤークラス	タップしたまま1秒間長押しする

## イヤークース LED表示のステータス

イヤークースステータス	表示
イヤークースはBluetooth対応機器に接続されています	白色のLEDは5秒毎に点滅します
イヤークースのペアリングするスタンバイが来ています	LED が青色と白色で交互に点滅します
イヤークースがオンになっていますが、Bluetooth対応機器に接続されていません	白のLEDは1秒毎に点滅します (3分後に自動電源オフ)
電池残量低下(イヤークース)	青色のLEDは5秒毎に2回点滅します
充電完了 (充電ケース)	ケースLEDを参照してください

## 充電ケースLED表示のステータス

充電時	表示
電池残量が少なくなっています	琥珀色のLEDが点灯します
割と適切な電池	白色のLEDが点灯します
使用中及びカバーは開いています	表示
電池残量が少なくなっています	琥珀色が4サイクルゆっくり点滅します
割と適切な電池	消灯します

## 5 イヤーピースのリセット

ペアリングまたは接続に問題が発生した場合は、次の手順に従って工場出荷時の設定にイヤーピースをリセットできます。

- 1 Bluetooth対応機器で、Bluetoothメニューに移動して、**Philips TAT5506**をデバイスリストから削除します。
- 2 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオフにします。
- 3 イヤーピースを充電ボックスに戻してふたを開きます。
- 4 ボックスのボタンを2回押してください。
- 5 「イヤピースを使う - イヤピースをBluetoothデバイスに接続する」の手順に従ってください。
- 6 Bluetooth デバイスでイヤーピースをペアリングして**Philips TAT5506**を選択してください。

イヤピースから反応がない場合、以下の手順に従ってイヤピースのハードウェアをリセットできます。

- 多機能タッチを10秒以上長押しします。

## 6 製品仕様

- 音楽の再生時間 (ANCオン) : 7 + 21時間
- 音楽の再生時間 (ANCオフ) : 8 + 24時間
- 待機時間: 55時間
- 充電時間: 2時間
- リチウムイオン電池55mAh (各イヤピース)、リチウムイオン電池550mAh (充電ケース)
- Bluetooth バージョン: 5.2
- 対応 Bluetooth プロファイル:
  - HFP (ハンズフリープロファイル)
  - A2DP (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)
  - AVRCP (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)
- サポートされているオーディオコーデック: SBC、AAC
- 周波数範囲: 2.402 ~ 2.480 GHz
- 伝送出力: 10dBm未満
- 動作可能範囲: 最大 10メートル (33フィート)
- 自動電源オフ
- 充電用USB-Cポート
- バッテリー残量低下警告: あり

### 注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

# 7 お知らせ

## 適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limited は、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言は[www.p4c.philips.com](http://www.p4c.philips.com)からご確認ください。

## 使用済み製品とバッテリーの廃棄



本製品はリサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。



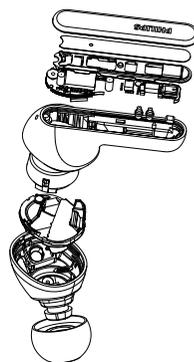
この記号の意味は欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式バッテリーで、一般廃棄物として廃棄できません。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに持ち込むことを強くお勧めします。

電気・電子製品と充電式バッテリーの地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式バッテリーを適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防ぐことができます。

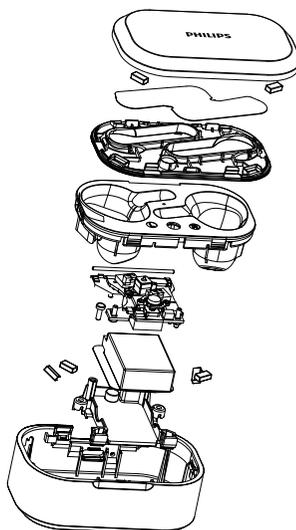
## 内蔵バッテリーの取り外し

お客様の国に電子製品の回収・リサイクルシステムがない場合、イヤピースを廃棄する前にバッテリーを取り外してリサイクルすることで環境保護ができます。

- ・ バッテリーを取り外す前に、イヤピースが充電ケースから外れていることを確認してください。



- ・ バッテリーを取り外す前に、充電ケースがUSB充電ケーブルから外れていることを確認してください。



## EMFのコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関しては該当するすべての規格および規制に準拠しています。

## 環境情報

不要な梱包はなくなりました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート。)に分別しやすい梱包を心がけました。

本製品は、専門会社によって解体された場合リサイクルおよび再利用できる材料で作られています。梱包材料、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

## コンプライアンスに関するお知らせ

FCC 規則、パート15に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. このデバイスは有害ある干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、あらゆる干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

### FCC法規

本装置は、テストの上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタル機器の限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できます)、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えます
- 装置と受信機の距離を離します。
- 装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください
- サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に相談してください

### FCCの放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。この送信機を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

**注意:** 法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性がある場合がございます。

### カナダ:

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSSに準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。(1)この機器は有害な干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

**ICの放射線被曝に関する記述:**

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

## 8 商標

---

### Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited はライセンス契約に基づいてかかるマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

---

### Siri

Siriは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

---

### Google

Google、Google PlayはGoogle LLCの商標です。

## 9 よくあるご質問

**使用しているBluetoothイヤークーピーズの電源が入りません。**

電池残量が少なくなっています。イヤークーピーズを充電してください。

**使用しているBluetooth対応機器とBluetoothイヤークーピーズをペアリングできません。**

Bluetoothが無効になっています。イヤークーピーズをオンにする前に、Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にし、Bluetooth対応機器の電源を入れてください。

**ペアリングがうまくできません。**

- ・ 両方のイヤークーピーズを充電ケースに入れます。
- ・ 以前接続したBluetooth対応機器のBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- ・ お使いのBluetooth対応機器で、Bluetoothリストから「Philips TAT5506」を削除します。
- ・ イヤークーピーズをペアリングします(6ページの「初めてイヤークーピーズをBluetooth対応機器とペアリングする」を参照)。

**Bluetooth対応機器でイヤークーピーズを見つけられません。**

- ・ イヤークーピーズが以前にペアリングされた機器に接続されている可能性があります。その接続されているデバイスの電源を切るか、電波の届かない場所に移動させてください。
- ・ ペアリングがリセットされたか、イヤークーピーズが既に他のデバイスに接続されている可能性があります。ユーザーマニュアルの説明に従って、イヤークーピーズとBluetooth対応機器を再度ペアリングします。(6ページの「初めてBluetooth対応機器にイヤークーピーズをペアリングする」を参照)。

BluetoothイヤークーピーズがBluetoothステレオ対応のスマートフォンに接続されているが、音楽はスマートフォンのスピーカーでしか再生されません。お使いのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。イヤホンを通じて音楽を聴く設定をご確認ください。

**音質が悪く、音飛びやノイズがあります。**

- ・ Bluetooth対応機器が電波が届かない範囲にあります。  
イヤークーピーズとBluetooth対応機器間の距離を短くするか、間にある障害物を取り除きます。
- ・ イヤークーピーズを充電してください。

**スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合、音質が低下します。**

携帯電話が(モノラル)HFPだけではなく、A2DPもサポーとしており、BT4.0x(以上)と互換性があることを確認してください(「技術データ」の11ページを参照)。

**左右のイヤホン間の接続が切れています。**

- ・ 両方のイヤークーピーズを充電ケースに入れてください。
- ・ ケーシングボタンを短く3回押してください。



2021 © MMD Hong Kong Holding Limited. All rights reserved. 仕様は予告なく変更されることがあります。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limitedまたはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品に関する保証を担当します。他のすべての会社名および製品名は、それらが関連付けられている各会社の商標である可能性があります。

